

まつやま人口減少対策推進会議 専門部会事業提案書

代表団体名称	松山商工会議所
副代表団体名称	愛媛県法人会連合会
活動テーマ	企業の生産性アッププロジェクト
活動趣旨（本市の人口減少対策の現状、課題等）	<p>第 2 期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標③「魅力ある仕事と職場をつくる」の成果指標である「市内総生産 1.6 兆円の維持」を達成するためには、労働力人口の減少が避けられない中で、飛躍的に企業の生産性を向上させる必要がある。</p> <p>企業の生産性向上の切り口としては、IoT や AI といった先進技術の利活用による第 4 次産業革命を成し遂げることが求められる。企業や従業員に人口減少を認識してもらい、あわせて、生産性の向上を進めていく必要がある。こうした中で、コロナクライシスにより、劇的に企業の ICT 利活用が進んでおり、これをチャンスと捉えて、一層の推進を図る。</p>
活動の項目	<p>○調査・研究活動 推進会議規約第 3 条(1)</p> <p>○普及・啓発活動 推進会議規約第 3 条(2)</p>
活動内容（本市の実態や効果的な施策に関する調査・検証、人口減少対策推進のための取組の周知・啓発等）	<p>令和 2 年度は、企業の生産性向上を目的に ICT 利活用調査を行った。コロナ禍の影響により、企業の ICT 利活用は劇的に進展したが、効果的であったものと、そうでないものが明確となった。コロナ禍を企業の IT 化を進めるチャンスに捉えて、調査結果をもとに、ICT 利活用の促進を図る。具体的には、アンケートの事例を深耕し、成功モデルを抽出するとともに、個別企業の支援を行う。また、オンラインミーティングやリモートワーク、グループウェア、EC などの活躍が進んでいることから、こうした IT ツールをより生産性向上に活用できる人材を育成するため、首都圏の IT 関係企業と連携し、管内企業のイノベーション人材の育成に資するセミナーを開催する。このほか、ICT 利活用促進には、安定した高速通信基盤の整備と活用が不可欠である。令和 2 年に立ち上げた、管内通信事業者を中心とした研究会において、5G などの次世代インフラの研究を行うとともに、そのビジネス活用を検討する。あわせて、これらの成果を市の施策に要望する。</p>
進捗状況	<p><u>研究会の実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年 4 月 23 日 テーマ 「公衆 5G の現状と活用事例について」 講師 (株)ドコモ CS 四国 愛媛支店 支店長 小野川 氏 ・令和 3 年 8 月 4 日 テーマ 「松山市総合コミュニティセンターを活用したイベントについて」 講師 (株)ドコモ CS 四国 愛媛支店 支店長 小野川 氏 ・令和 3 年 11 月 開催予定

	<p><u>セミナーの実施状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年 8 月 25 日 テーマ 「企業のデジタル化 ～DX の基本～」 講 師 EdMuse(株) 代表取締役 福井 氏 テーマ 「グループウェアを活用した生産性の向上とデジタル化」 講 師 サイボウズ(株) 部長 大槻 氏 ワークショップ 「実践！すぐに使える！デジタルイノベーション」 モデレーター アイシス(株) 人事担当 林 氏 (株)リンクアンドモチベーション デザイン室 林 氏 ・ 令和 4 年 1 月 開催予定
構成メンバー	松山商工会議所、愛媛県法人会連合会
事業期間	2021 年 4 月 1 日 ～ 2022 年 3 月 31 日
事業に要する経費	1,375,000 円 (内 自主財源 75,000 円)

デジタルイノベーション「実践塾」

～企業のデジタル化を事業に実装する!～

コロナ禍において、劇的に進展したICT利活用。これをアフターコロナに向けて、経営改革につなげる必要があります。先進的な事例を学びながら、身近なICTツールを活用して、デジタルイノベーションを実現するための実践塾を開講します。

日時 令和3年 8月25日(水)
13:30~16:30

オンライン開催
※松山商工会議所 5階 大ホールでも受講可

13:30~14:30 セミナー①

「企業のデジタル化 ～DXの基本～」

DXとは何かを分かりやすく解説します。

講師

EdMuse株式会社
代表取締役

福井 啓介氏



東京理科大学大学院 イノベーション研究科 技術経営専攻(MOT)修了。一橋大学大学院経営管理研究科 イノベーションマネジメント・政策プログラム修了。株式会社東芝にてシステム開発設計に従事した後、2000年に独立。以後、教育事業を軸として、複数の起業・経営に携わる。現在、企業におけるDX実現に向けた課題解決のための新規ビジネスモデル構築の支援活動をしている。

14:30~15:30 セミナー②

「グループウェアを活用した 生産性の向上とデジタル化(仮題)」

働き方改革をなし得るためのデジタル化について理解を深めます。

講師

サイボウズ株式会社
コーポレートブランディング部長
チームワークスタイル
エバンジェリスト

大槻 幸夫氏



大学卒業後、知り合い2人とともに株式会社レスキューナウ・ドット・ネットを創業。2005年にサイボウズ株式会社に転職。製品プロモーション、新規事業(サイボウズLive)立ち上げ、サイボウズ式立ち上げを経て、コーポレートブランディング部長に就任。ワークスタイルムービー「大文夫」やアニメ「アリキリ」、CM「がんばるな、ニッポン」の制作にも携わる。昭和ど真ん中の価値観で育ったため、最近のサイボウズのホワイトぶりに動揺している。2018年からはワークスタイルエバンジェリストに就任。自身の経験をもとに、サイボウズ流の働き方改革を企業に伝える活動をしている。

15:30~16:30 ワークショップ

「実装! すぐに使える! デジタルイノベーション」

ワークショップ形式で、無料のITツールを活用しながら、業務改善につながるデジタル化を体感します。

モデレーター

アイリス株式会社
コーポレート本部人事担当

林 英治郎氏



株式会社リンクアンドモチベーション
グループデザイン室
モチベーションエンジニアリング研究所
上席研究員
早稲田大学 トランスナショナルHRM研究所
招聘研究員

林 幸弘氏



主催 松山商工会議所

お問い合わせ

右記のQRコードか下記をFAXにて送信ください。

松山商工会議所 地域振興部 <http://www.jemcci.jp>

TEL 089-941-4111 FAX 089-947-3126



セミナー申し込み

E-mail jemcci@jemcci.jp FAX 089-947-3126

事業所名			
所在地			
TEL			
受講者名①		E-mail	
受講者名②		E-mail	

ご記入いただきました個人情報は、当事業に利用するほか当会議所からの各種連絡・情報提供、調査分析のために利用することがあります。

デジタルイノベーション実践塾 アンケート回答

DXをはじめとする概念を改めて整理できた点がよかったです。

デジタル化に係る概念やステップが参考になりました。

社会状況の変化を踏まえて業務の改革に取り組みことの必要性を改めて認識しました。

Digitization→Digitalization→DXの順に取りかかれるところから行う、例えば情報管理のブロックチェーン化、意思決定やコミュニケーションの見える化・共有化（サイボウズ様）、アイリス様ご紹介のオンラインでのタスク管理等の管理ツールの導入から始めるというお話をいただき、大変参考になりました。

専門的用語や普段聞きなれない言葉が多く理解が難しかったが、今後取り組むべき課題と認識している為、これからもしっかりと勉強していきたい。

小さくはじめる→成果を見せる

紙を中心とする今までの社内ルールではカバーできないものを軽々と乗り越えていける仕組みは今後に必要ななってくると感じました。

意思決定やコミュニケーションの過程の見える化・参画は組織の流動性や生産性を高める上でとても重要と考えますが実際は困難で、やはり経営者様が意欲的に導入していくことが必要と感じました。

弊社の業務内容および規模ではそのまま導入とはいきづらいのが正直なところですが、今後の参考にさせて頂ければと思います。

自社にどう展開できるかが課題使えるツールをまず試してみる

様々なツールをご紹介頂きましたので、試してみようと思います。

実践できて、アカウントも登録できたので使ってみたいです。

導入すると便利になるツールが溢れていて、気軽に始められそうな点が参考になりました。

今後経営者様等の意識を変え、少しずつデジタル化が進むようになれば、事業者様の生産性も上がっていくと感じました。”

実際に試しながらと思いましたが作業が追い付かず中途半端になってしまいました。あとでゆっくりやってみます。”